



さけ稚魚の海中放流（唐桑）について

■本市魚市場における秋さけの水揚げは、宮城県漁業協同組合唐桑支所所属の漁業者によるものが4割以上を占めますが、唐桑地域の漁場は気仙川の流域に広がる広田湾も含まれており、気仙川から放流されたさけも漁獲することとなるため、岩手県と連携した資源管理が求められています。

■そのため、岩手県広田湾漁業協同組合が実施する気仙川さけふ化放流事業により生産した稚魚の一部を気仙沼市大川水系さけます増殖協会が買い上げ、広田湾側にある大沢（唐桑）漁港内にて海中飼育を実施することで回帰率の向上に努め、広田湾でのさけ資源増殖に貢献しています。

■今年度の唐桑海中飼育事業は、3月21日の海水移行から22日間の飼育管理を行っており、稚魚を外敵から守ることで減耗を最小限に抑え、順調に成長しています。

■本地域並びに岩手県広田地区沿岸漁業にとって貴重なさけ資源を持続的に増殖するため、海中飼育した稚魚の放流を下記のとおり実施いたします。

【さけ稚魚の海中放流（唐桑）の概要】

- 日時 平成29年4月13日（木）午前9時15分から
※当日は乗船等の準備がありますので、午前9時00分までに下記の場所に集合願います。
- 場所 大沢漁港（気仙沼市唐桑町竹の袖地内）
- 放流尾数 約98万3千尾
体重2.01g/尾（平成29年4月5日現在：3月21日海水移行時1.02g/尾で0.99g/尾の増）
※体重・体長については、放流前に再計測いたします。
- 事業主体 気仙沼市大川水系さけます増殖協会（事務局：産業部水産課）
会長 気仙沼市長 菅原 茂
- 実施主体 宮城県漁業協同組合唐桑支所
- その他 当日の海面状況等により延期することとなった場合は、幹事連絡によりお知らせします。